



## 2008 年度環境行動目標(活動結果)

2008 年度は、第五次環境行動計画（2007 年度～2009 年度）の 2 年目として、スーパーグリーン製品の拡大、環境効率ファクターの向上及び環境配慮ソリューションの推進を軸に、次の環境行動目標に取り組み、全項目（6 項目）で目標を達成しました。

### 2008 年度活動結果（概要）

項目	目的	2008 年度末目標	2008 年度実績	状況	
1	スーパーグリーン製品の拡大	全事業部門で新規開発したグリーン製品を対象に、環境トップ要素を持つスーパーグリーン製品を提供する	スーパーグリーン製品の達成率 30% 以上	スーパーグリーン製品達成率 36% (2007 年度～2008 年度累計)	達成
2	環境効率ファクターの向上	全事業部門で新規開発したグリーン製品を対象に、製品環境効率ファクターを向上する	環境効率ファクター「1.75」以上	環境効率ファクター「2.31」 (2007 年度～2008 年度累計)	達成
3	環境配慮ソリューションの推進	環境に配慮したソリューションを提供し、顧客先での環境負荷を低減する	各部門 1 項目以上	各部門で 1 項目以上実施 (対象 22 項目/22 部門=100%)	達成
4	グリーン調達の推進	製品用資材・ソフト・サービスの調達において、積極的に環境配慮へ取組む取引先からの調達を推進する	EMS 構築 100%維持	EMS 構築率 100%維持 (対象 818 社/818 社=100%)	達成
			EMS レベル 1 の取引先の 80%をレベル 2 以上へ向上	EMS レベル 1 をレベル 2 以上 (対象 24/24 社=100%)	
5	グリーンファクトリー、グリーンオフィスの推進	環境配慮活動を推進するとともに、環境情報の見える化などにより環境意識の向上を図る	各部門 1 項目以上見える化強化実施	各部門で 1 項目以上実施 (対象 44 項目/44 部門=100%) 見える化強化実施	達成
6	地球温暖化対策	エネルギー消費 CO <sub>2</sub> を削減する	1990 年度比 ± 0% 相当へ抑制 CO <sub>2</sub> 排出量 8,425.00 トン	1990 年度比 - 3% CO <sub>2</sub> 排出量 8,176 トン (目標比-249 トン)	達成

### 行動目標達成のための主な具体策

#### 1. スーパーグリーン製品の拡大

製品の省エネ技術、3R 設計・技術（省資源化・再使用・再資源化）、化学物質含有抑制、環境貢献材料・技術の推進、LCA（Life Cycle Assessment）手法の適用拡大

#### 2. 環境効率ファクターの向上

基本製品仕様（処理性能、速度）などの設計・技術の向上  
製品の省エネ技術、3R 設計・技術（省資源化・再使用・再資源化）の推進

#### 3. 環境配慮ソリューションの推進

社内ホームページ事例公開による広報など

#### 4. グリーン調達の推進

取引先調査・当社グリーン調達基準への対応要請

#### 5. グリーンファクトリー、グリーンオフィスの推進

社内ホームページ事例公開による広報など

#### 6. 地球温暖化対策

地球温暖化防止国民運動「チーム・マイナス 6%」の推進  
天井灯、誘導灯、飲料用自動販売機、厨房内業務用冷蔵庫などの省エネタイプ機器への更新  
全社エコ定時退社日の推進 / 巡回

## スーパーグリーン製品の拡大

## 行動計画(目標1)

製品が市場で使用される段階における環境負荷低減への貢献をより一層強化すべく、省エネルギー・省資源・省化学物質などの環境配慮要素がトップグループ以上となる環境に配慮した製品の創出に取り組みました。

項目	行動目的	2008年度目標/実績
スーパーグリーン製品の拡大	全事業部門で新規開発したグリーン製品を対象に、環境トップ要素を持つスーパーグリーン製品を提供する	目標：30%以上 実績：36% (2007-2008年度累計)

スーパーグリーン製品とは、「省エネ」「3R設計・技術」「化学物質」「環境貢献材料・技術」などの環境要素のいずれかにおいて、環境要素がトップグループ以上であり、市場製品あるいは自社製品との比較において優れた製品及びシステムとして定めています。

2008年度は、14製品のグリーン製品シリーズ数の中から新たに2製品シリーズをスーパーグリーン製品として認定しました。2007年度以降、これまでに5製品シリーズを市場へ提供しました。

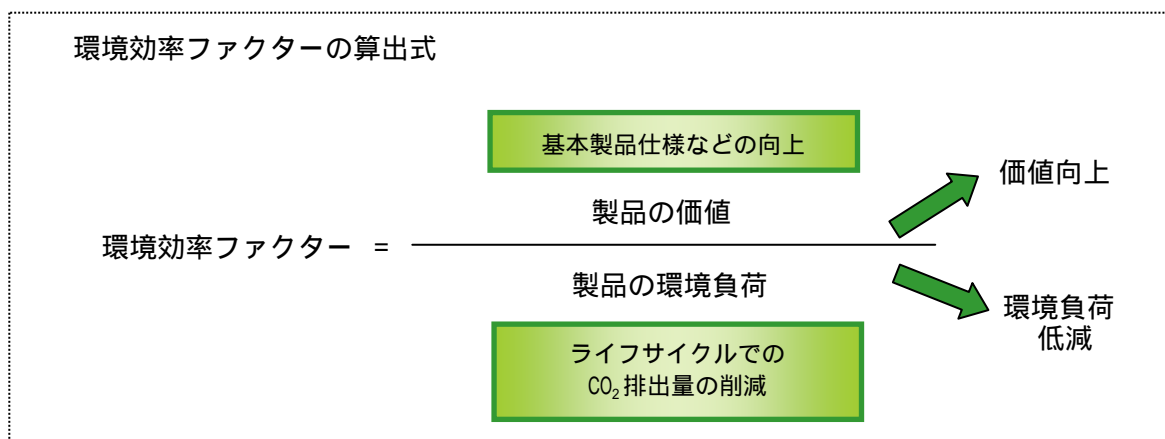
## 環境効率ファクターの向上

## 行動計画(目標2)

製品が市場で使用される段階における環境負荷低減への貢献をより一層強化すべく、製品ライフサイクルにおける環境性能をアピールするとともに、環境に配慮した製品の創出に取り組みました。

項目	行動目的	2008年度目標/実績
環境効率ファクターの向上	全事業部門で新規開発したグリーン製品を対象に、製品の環境効率ファクターを向上する	目標：「1.75」以上 実績：「2.31」 (2007-2008年度累計)

製品ライフサイクルの環境負荷低減と製品の価値向上を環境効率ファクターで算出し、環境負荷の最小化と製品価値の最大化を目指しています。



2008年度は、新たに開発した3製品を対象とした環境効率ファクター（2007-2008年度累計）が「2.31」となり、目標の「1.75」以上を達成しました。

## 環境配慮ソリューションの推進

## 行動計画(目標3)

環境に配慮したソリューションの提供による顧客先での環境負荷低減への貢献について、取り組みました。

項目	行動目的	2008年度目標/実績
環境に配慮したソリューションの推進	環境に配慮したソリューションを提供し、顧客先での環境負荷を低減する	目標：各部門で1項目以上 実績：各部門で1項目以上 (22項目/22部門=100%)

環境に配慮したソリューションとは、「省エネ」「省資源」「省化学物質」「効率化」に繋がるソリューション(ハードウェア、ソフトウェア、サービス)により環境負荷低減に貢献するものです。

2008年度は、対象22部門の全てにおいて、環境に配慮したソリューションの提供を通じて、顧客先での環境負荷低減への貢献に取り組みました。

## グリーン調達

## 行動計画(目標4)

環境にやさしい製品を提供するために、積極的に環境配慮に取り組んでいるお取引先からの資材調達に取り組みました。

項目	行動目的	2008年度目標/実績
グリーン調達の推進	製品用資材・ソフト・サービスの調達において、積極的に環境配慮へ取組む取引先からの調達を推進する	EMSの構築 目標：100% 実績：100%
		EMSのレベルアップ 目標：80%以上 実績：100%

環境に配慮している取引先からの調達とは、ISO14001を取得またはそれに準拠した活動に取り組んでいる企業からの調達を行うものです。環境にやさしい製品を提供するために、PFUGリーン調達ガイドラインを制定し、お取引先のご協力をいただき推進しています。

2008年度は、継続的にお取引する新規取引先も含めて、環境に配慮しているお取引先からの調達比率(取引社数ベース)100%を達成しました。また、部材系のお取引先について環境マネジメントシステム(EMS)の構築レベル1のお取引先の100%がレベル2以上達成となりました。

## グリーンファクトリー、グリーンオフィスの推進

## 行動計画(目標5)

ITを利用した社内業務改善などの環境負荷低減活動を推進するとともに、環境情報の見える化などにより環境意識の向上を図ることに取り組みました。

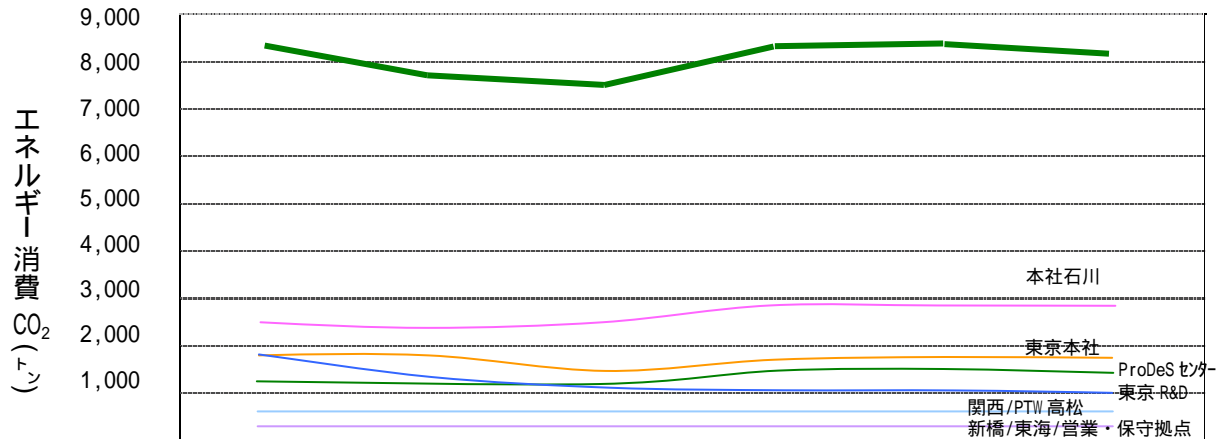
項目	行動目的	2008年度目標/実績
グリーンファクトリー、グリーンオフィスの推進	環境配慮活動を推進するとともに、環境情報の見える化などにより環境意識の向上を図る	目標：各部門で1項目以上 実績：各部門で1項目以上 (44項目/44部門=100%)
		目標：見える化強化 実績：見える化強化実施

グリーンファクトリー、グリーンオフィスとは、「省エネ」「省資源」「省化学物質」「効率化」に繋がる社内実践活動、環境情報の全従業員への情報公開により環境負荷低減を推進するものです。

2008年度は、対象44部門の全てにおいて、社内業務へのIT活用などの環境負荷低減活動に加え、「環境情報の見える化」強化としてProDeSセンターに電力モニタリングシステムを導入しました。

国内主要8事業所の地球温暖化対策(省エネルギー対策)に取り組んでいます。第五次行動計画では、2009年度末までにエネルギー消費CO<sub>2</sub>を1990年度比3%削減することを目標に取り組んでいます。なお、エネルギー消費の内訳は、事業所内で使用する電力、油、ガスを対象としています。

項目	行動目的	2008年度目標/実績
地球温暖化対策	エネルギー消費CO <sub>2</sub> を2009年度末までに1990年度比2%削減する	目標：1990年度比±0% (CO <sub>2</sub> :8,425t以下) 実績：1990年度比-3% (CO <sub>2</sub> :8,176t)



	1990	1995	2000	2006	2007	2008
CO <sub>2</sub> (t)	8,425	7,912	7,635	8,411	8,473	8,176
本社/石川	2,383	2,229	2,466	2,987	2,978	2,901
東京本社	1,735	1,735	1,543	1,764	1,783	1,731
ProDeS センター	1,218	1,218	1,218	1,600	1,639	1,608
東京 R&D	1,746	1,391	1,195	1,062	1,097	1,080
関西	480	480	442	356	330	346
東海	70	70	63	53	59	66
新橋	227	226	203	195	195	185
PTW 高松	408	408	366	244	242	127
営業・保守	158	155	139	150	150	132

(補足) 電力+油+ガスの使用量を二酸化炭素に換算した量(t)。一部の増築施設は対象から除外しています。

### 2008年度の活動内容

2008年度のエネルギー消費CO<sub>2</sub>は8,176t(1990年度比-3%)となり、目標達成しました。これは、以下の各種施策によるものです。

#### 主な実施内容

- 地球温暖化防止国民運動「チーム・マイナス6%」の推進(COOL BIZ/WARM BIZ 全事業所)
- 空調機の省エネ運転、空調設備の省エネタイプへの更新(本社/石川開発センター、ProDeSセンター、他)
- 照明の間引き/消灯(全事業所)
- 全社エコ定時退社日の推進/巡回(全事業所)
- PFUテクノワイズ高松工場のProDeSセンターへの統合

